

## 9色の色彩からわかる代表的な色の意味

参考資料・監修：小冊子「癒・色・住」一級建築士・栗山 恵著

### 赤

赤は体と心に与える影響がとても高い色といえます。赤が引き出す感情は、情熱や愛情、欲望や怒り、激情など幅広い意味に捉えることができます。気持ちと身体を一体化する性質も持ちますので、赤を用いることでモチベーションを上げる、やる気にさせる、戦闘意欲、好奇心や気力、勇気を高めるなどの効果が挙げられます。自己主張を打ち出すのにも適した色です。血圧を上げる効果や体温を上げる効果を持ちます。逆に気持ちが高ぶっている時、プレッシャーを感じている時は逆効果になりますので、注意が必要です。

### ピンク

ピンクは赤に白を混ぜた色です。ピンクになると赤とはまったく違う意味に変化します。優しく柔らかく女性的な感覚を与えます。穏やかで母の胎内をイメージさせることから、甘いという感情を表す場合もあります。小さなお子さんがこの色を選ぶ時はスキンシップを必要としている可能性もありますので、親子で触れ合える機会を増やすと良いかと思えます。この色を選ぶ方が男性か女性か、年代などにより若干意味が変化してきますが、基本的に優しく豊かで、家庭的な愛情、女の子らしいチャームアップ可愛らしさ、母としての感情などを表すことが多いです。細胞を若返らせる効果も持ちます。

### オレンジ

活発で陽気、外交的で開放的な意味を持ちます。赤同様、前向きに物事を捉える趣向があり、一緒にいると楽しく、和やかな雰囲気作りが得意です。動き始める前、つまり準備段階の時期を表現している場合があります。検討、迷いが生じている可能性もありますが、どの場合も前向きに進むために必要な自立期間だということを知らせてくれています。思い切って進んでOKです。変化を必要としている方、思い切った改善をしたいと感じている方、不退転の決意で前に進もうとしている方も、オレンジを選ぶ確立が高いです。

### 黄

黄色は精神と結びつけられることの多い色です。頭脳明晰な状態、判断力に冴えている時などは黄色を選ぶ傾向があります。話上手で、空気を読む能力にも優れていることが多いので、コミュニケーションの色ともいわれています。実年齢よりも、気持ちの上で若い方が多く、年下の仲間とも違和感なくお付き合いができます。知性的で、新しいものに敏感、希望・楽観的な感覚を持っている時に選ぶことが多く、くたたくのない明るさとお茶目なところが周りの人を元気にしてしまうことが多いです。落ち着いた話をする時は、黄色を多様しないほうがいいです。

### 緑

木々の色を代表する緑色。調和をもたす色です。赤と青のちょうど中間に位置することから、右と左のバランスを整える、上下のバランスを整える効果が得られます。問題を両サイドから見つめることができるバランス感覚に優れた状態ともいえます。常に理想を追って私欲に走らない努力を続ける心の状態にあることを表しています。精神を穏やかにすると同時に癒しを与えてくれる色でもあり、心身の疲れをほぐしてくれます。一方で物事をなかなか決められないという一面も表現される時があります。

### 青

青は真実の色といわれています。勤勉で真面目、高い志を意味していることが多いです。神経を落ち着かせたり、集中力を必要としている時は、青をイメージしたり身につけたり、自分の周りに配置したりして取り入れることで、鎮静、集中効果を得られます。冷静で理性的な心の状態の時は比較的青を選ばれることが多く、またその逆で落ち着きがなかったり焦っている状態の時にも、自分自身を落ち着かせるために選ばれる傾向があります。物事を真剣に考え、内向的な時期にも青を選ぶ傾向があります。

### 紫

赤と青の中間色である紫は、極めてスピリチュアルな色と呼ばれています。活動的な赤と冷静沈着な青を同時に心に持っている状態であると解釈していただけると良いと思います。精神と感情の調和を表す一方で、不安定な心の状態であることも考えられます。紫は高貴な王族や僧侶が身につける色でもあったことから、優位性を必要としている時、信仰心のある時なども選ばれます。精神的に疲れている時に紫を身につけることでリラックスできる効果があります。

### 黒

黒はすべての色を吸収する色です。ですからこの色が気になる時、選ばれる時は非常に血気盛んで体力的エネルギーにあふれている時、その高いエネルギーを抑えるために無意識に黒を選んでいる場合が考えられます。また逆にエネルギー不足の時、特に知識や見識不足から自分自身に不安を感じている時、また嫌な事、ショックな事があり気持ちの整理が出来ない状態の時も選びます。不安、死、葬式、孤独、恐怖などを表現し、プラス面では安定、カッコよさ、落ち着き、高級などを表現しています。